

SYSTEM AND METHOD FOR PROVIDING BULLETIN ARTICLE INFORMATION

Patent Number: JP2002049543
Publication date: 2002-02-15
Inventor(s): KAMIYA SHINGO; SAKAGUCHI NORIFUMI; FUKAISHI KENJI
Applicant(s): NTT DATA CORP
Requested Patent: ☐ JP2002049543
Application Number: JP20000238322 20000807
Priority Number(s):
IPC Classification: G06F13/00; G06F17/30; G06F17/60
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable a user to easily record information posted up as a bulletin article, e.g. information on access to an information providing source as an object of advertisement.
SOLUTION: An advertisement hanger 5 in an electric train stores access information of advertisement 3 and sends the access information to the user portable terminal 1 that a user carries in response to the reception of an access information request signal from the information communication terminal 1.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-49543

(P2002-49543A)

(43) 公開日 平成14年2月15日 (2002.2.15)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト (参考)
G 0 6 F 13/00	5 1 0	G 0 6 F 13/00	5 1 0 C 5 B 0 4 9
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 G 5 B 0 7 5
	1 7 0		1 7 0 Z
	3 1 0		3 1 0 C
17/60	3 2 6	17/60	3 2 6

審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 12 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-238322(P2000-238322)

(22) 出願日 平成12年8月7日 (2000.8.7)

(71) 出願人 000102728

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
東京都江東区豊洲三丁目3番3号

(72) 発明者 神谷 慎吾

東京都江東区豊洲三丁目3番3号 株式会
社エヌ・ティ・ティ・データ内

(72) 発明者 坂口 伯文

東京都江東区豊洲三丁目3番3号 株式会
社エヌ・ティ・ティ・データ内

(74) 代理人 100095371

弁理士 上村 輝之

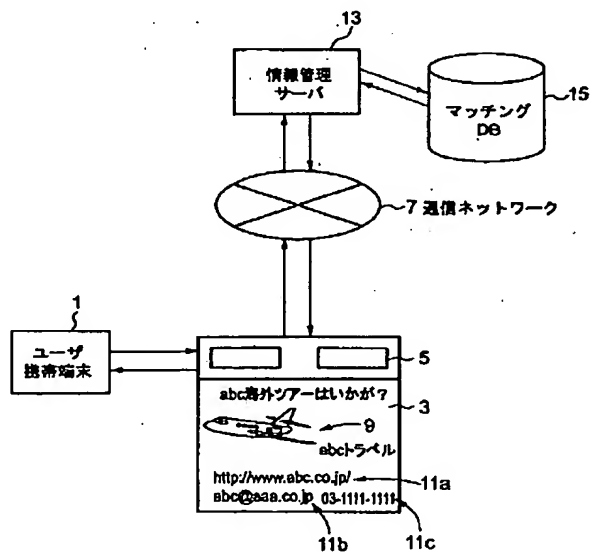
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 掲示物掲載情報提供システム及び方法

(57) 【要約】

【課題】 掲示物に掲載された情報、例えば、広告対象の情報提供元へのアクセス情報の記録をユーザが容易に行えるようにすること。

【解決手段】 電車内の広告吊り器5は、広告3のアクセス情報を記憶し、ユーザが携帯する情報通信端末1からアクセス情報要求信号を受けたときは、それに応答してアクセス情報をユーザ携帯端末1に送信する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 所定の掲示物の近傍に設置され、前記掲示物の掲載内容に関連する掲載関連情報を発信する掲載関連情報発信装置と、

前記掲載関連情報を受信して掲載関連情報の内容をユーザ所望のタイミングでユーザに報知する携帯可能なユーザ通信端末とを備える掲示物掲載情報提供システム。

【請求項2】 前記ユーザ通信端末は、前記掲載関連情報発信装置に掲載関連情報の発信を要求するための情報要求信号を送信する手段を備え、

前記掲載関連情報発信装置は、前記情報要求信号を受信したときに、前記掲載関連情報を発信する請求項1記載の掲示物掲載情報提供システム。

【請求項3】 前記掲載関連情報発信装置は、前記情報要求信号の送信実行前にユーザが前記ユーザ通信端末に入力すべき入力コードを報知し、前記報知した入力コードが入力されたユーザ通信端末から情報要求信号を受信したときは、そのユーザ通信端末に前記掲載関連情報を発信する請求項2記載の掲示物掲載情報提供システム。

【請求項4】 前記掲載関連情報発信装置が、前記掲示物が掲示されて取外されるまでの掲載期間に受信した前記情報要求信号の回数の総計を算出する算出手段と、

前記算出した総計を所定のタイミングで所定の場所へ出力する出力手段とを備える請求項2記載の掲示物掲載情報提供システム。

【請求項5】 前記ユーザ通信端末が、前記情報要求信号と共にそのユーザ通信端末を所持するユーザの個人情報を送信し、

前記掲載関連情報発信装置が、前記掲示物が掲示されて取外されるまでの掲載期間に受信したユーザ個人情報を蓄積して所定のタイミングで所定の場所へ出力する請求項2記載の掲示物掲載情報提供システム。

【請求項6】 前記掲載関連情報発信装置には、前記掲示物に掲載される特定のコード、又は前記掲載関連情報発信装置を識別するための発信装置IDを元に、前記発信のための掲載関連情報が入力される請求項1記載の掲示物掲載情報提供システム。

【請求項7】 前記掲載関連情報には、前記掲載内容に関する情報提供元へのアクセス先を記録したアクセス情報、各アクセス情報に対応させたインデックス情報、前記掲示物の掲示場所に関連した場所関連情報、又は、特定の用途に使用可能なクーポン券情報が含まれている請求項1記載の掲示物掲載情報提供システム。

【請求項8】 前記ユーザ通信端末が、受信した前記アクセス情報又は前記インデックス情報をリストで表示し、そのリストからユーザ所望のアクセス情報又はインデックス情報が選択されたときは、前記選択されたアクセス情報又はインデックス情報に対応したアクセスを実行する請求項7記載の掲示物掲載情報提供システム。

【請求項9】 所定の掲示物の近傍に設置され、前記掲示物の掲載内容に関連する掲載関連情報を発信する手段を備える情報発信装置。

【請求項10】 所定の掲示物の近傍に設置された発信装置から発信される、前記掲示物の掲載内容に関連する掲載関連情報を受信する受信部と、受信された前記掲載関連情報の内容をユーザ所望のタイミングでユーザに報知するユーザインタフェース部とを備える通信端末。

【請求項11】 所定の掲示物の掲載内容に関連する掲載関連情報を前記掲示物の近傍へ発信するステップと、前記掲載関連情報を受信して掲載関連情報の内容をユーザ所望のタイミングでユーザに報知するステップとを有する掲示物掲載情報提供方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報通信端末を利用した情報提供システム及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】街の路上、駅、電車内などの人が多い場所には、吊り広告やポスター等の広告・宣伝を目的とした掲示物が多い。それらの掲示物には、一般に、広告対象（例えば、保険機関が提供する保険システム、旅行業者が提供するパッケージツアー、又はメーカーが提供する電化製品などの商品又はサービス）の名称や効能等だけでなく、広告対象の情報提供元へのアクセス情報、例えば、URL、メールアドレス、又は電話番号などが掲載されている。ユーザは、広告対象に関して問合せたり詳細な情報を取得したりしたい場合には、掲示物に掲載されているアクセス情報を記録し、記録したアクセス情報に従って情報提供元へアクセスする。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述したアクセス情報の記録は、一般に、手書きでメモ用紙に記録するか、或いは、携帯電話やPDA (Personal Digital Assistant) 等の携帯型情報端末に設けられている種々のキーを操作して入力するか、のいずれかの方法によって行う。

【0004】しかし、上述のいずれの方法でも、迅速にアクセス情報を記録することは困難である。特に、キー操作入力の場合は、各種キーは小さく作られているものが多いため手間であり、迅速に記録することは一層困難である。

【0005】また、混雑した場所では、手書きもキー操作も実行することは難しい。そればかりか、人込みのせいで、アクセス情報が掲載されている場所が隠れて見えないときもある。

【0006】従って、本発明は、混雑しているか否かに関わらず、掲示物に掲載された情報、例えば、広告対象の情報提供元へのアクセス情報の記録をユーザが容易に行えるようにすることにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明に従う掲示物掲載情報提供システムは、所定の掲示物の近傍に設置されその掲示物の掲載内容に関連する掲載関連情報をその掲示物の近傍へ発信する掲載関連情報発信装置と、掲載関連情報を受信してその掲載関連情報の内容をユーザ所望のタイミングでユーザに報知する携帯可能なユーザ通信端末とを備える。掲載関連情報には、掲載内容に関する情報提供元へのアクセス先を記録したアクセス情報、各アクセス情報に対応させたインデックス情報、掲示物の掲示場所に関連した場所関連情報、又は、特定の用途（例えば特定商品の割引など）に使用可能なクーポン券情報が含まれている。掲載関連情報発信装置とユーザ通信端末との通信は、有線でも無線でも可能である。有線の場合は、例えば、ユーザ通信端末の所定のコネクタに、掲載関連情報発信装置から延び出たケーブルの所定のコネクタを結合して通信を行う。無線の場合は、例えば、後述するように赤外線を用いて通信を行う。

【0008】本発明によれば、ユーザは、掲示物に掲載された情報を簡単に記録でき、好きなときにその内容を確認することができる。

【0009】なお、本明細書で言う「掲示物」は、貼付又は鉋着されるタイプの物、中吊りタイプの物や、額縁等の所定の収納枠に収納されて飾られるタイプの物など、あらゆるタイプの物を含む。

【0010】好適な実施形態では、ユーザ通信端末は、掲載関連情報発信装置に掲載関連情報の発信を要求するための情報要求信号を送信する手段を備え、掲載関連情報発信装置は、情報要求信号を受信したときに、掲載関連情報を発信する。

【0011】好適な実施形態では、掲載関連情報発信装置は、情報要求信号の送信実行前にユーザがユーザ通信端末に入力すべき入力コードを報知し、報知した入力コードが入力されたユーザ通信端末から情報要求信号を受信したときは、そのユーザ通信端末に掲載関連情報を発信する。

【0012】好適な実施形態では、掲載関連情報発信装置が、所定の掲示物が掲示されて取外されるまでの掲載期間に受信した情報要求信号の回数の総計を算出する算出手段と、算出した総計を所定のタイミング（例えば掲示物を取り外されたとき）で所定の場所（例えば所定の掲示物の掲載情報の提供元）へ出力する出力手段とを備える。

【0013】好適な実施形態では、ユーザ通信端末が、情報要求信号と共にそのユーザ通信端末を所持するユーザの個人情報を送信し、掲載関連情報発信装置が、所定の掲示物が掲示されて取外されるまでの掲載期間に受信したユーザ個人情報を蓄積して所定のタイミング（例えば掲示物を取り外されたとき）で所定の場所（例えば所定の掲示物の掲載情報の提供元）へ出力する。

【0014】好適な実施形態では、掲載関連情報発信装置には、掲示物に掲載される特定のコード、又は前記掲載関連情報発信装置を識別するための発信装置IDを元に、上記発信のための掲載関連情報が入力される。具体的に言えば、例えば、上記特定のコードは、掲載関連情報に対応させたものであり、掲載関連情報発信装置は、掲示物をセットする人間によって入力される特定コード又は自身が読取った特定コードを元に、所定の場所（例えば特定コードとその特定コードに対応した掲載関連情報とが記録されたテーブルを管理するサーバ）から掲載関連情報を取得する。

【0015】好適な実施形態では、ユーザ通信端末が、受信したアクセス情報又はインデックス情報をリストで表示し、そのリストからユーザ所望のアクセス情報又はインデックス情報が選択されたときは、選択されたアクセス情報又はインデックス情報に対応したアクセスを実行する。

【0016】

【発明の実施の形態】本発明に従う掲載情報提供システムは、街の路上、駅、及び電車内など、吊り広告やポスター等の掲示物を備えられる場所であれば、どのような場所においても適用することができる。以下、本発明を電車内の掲示物の掲載情報を提供することに適用したときの実施の形態を説明する。

【0017】図1は、上記実施形態に係る掲示物掲載情報提供システムの全体構成を示すブロック図である。

【0018】電車内に掲示される広告3には、広告対象9の他に広告対象9の情報提供元へのアクセス情報11a、11b、11cが掲載されており、電車の各車両内には、広告3をその上縁を挟持して吊るす広告吊り器5が複数設置されている（図には1つのみ記載）。本実施形態に係る広告吊り器5は、車内の各ユーザが所持する携帯型情報通信端末（以下、ユーザ携帯端末）1、及び、車内LAN又はインターネットような通信ネットワーク7を通じて情報管理サーバ13と通信可能に接続されている。情報管理サーバ13は、マッチングデータベース（マッチングDB）15を有している。

【0019】このシステムでは、ユーザは、ユーザ携帯端末1に備えられる後述のアクセス情報要求ボタンを押すだけで、広告3に掲載されているアクセス情報11a、11b、11cを、ユーザ携帯端末1内に記録することができる。なお、広告3に掲載されるアクセス情報には、例えば、広告対象9に関する詳細情報を閲覧するためのWebページのURL（<http://www.abc.co.jp/>）11aや、広告対象9に関する問合せをするためのメールアドレス（abc@aaa.co.jp）11b及び電話番号（03-1111-1111）11cがある（勿論、これは単なる例示であってこれに限定されない）。

【0020】以下、上述した各構成要素について詳述する。

【0021】図2は、本実施形態に係る広告3を示す。

【0022】本実施形態に係る広告3には、広告対象9及びアクセス情報11a、11b、11cが掲載されるエリア33の他に、バーコード印刷エリア31が設けられる。バーコード印刷エリア31は、広告吊り器5に挟持される上縁に位置し、アクセス情報11a、11b、11cを示すバーコード12a、12b、12cが印刷される。

【0023】各バーコード12a、12b、12cは、マッチングDB15に格納されている後述のバーコードテーブルに従って、各アクセス情報11a、11b、11cに付与されたアクセス情報ID（例えば7桁の数字）を表すものである。例えば、同図に示すように、バーコード12aは、バーコードテーブルに従ってアクセス情報（<http://www.abc.co.jp/>）11aに付与される「1000212」を表す。同様に、バーコード12bは、アクセス情報（abc@aaa.co.jp）11bに付与される「1000213」を表し、バーコード12cは、アクセス情報（03-1111-1111）に付与される「1000214」を表す。これらのバーコード12a、12b、12cは、広告3の上縁、つまりバーコード印刷エリア31が広告吊り器5に挟持されたときに、広告吊り器5の後述のバーコード読取部によって読取られる。

【0024】図3（a）は、広告吊り器5が広告3を挟持するために開いたときの外観図、図3（b）は、広告吊り器5が広告3を挟持したときの外観図を示す。

【0025】広告吊り器5は、バーコード読取部29と、図示しない吊り器制御部と、赤外線送受信部27と、書換可能なメモリ（例えばEEPROM）25とを備える。

【0026】バーコード読取部29は、挟持された広告3のバーコード印刷エリア31と接触する面上に備えられている。バーコード読取部29は、所定のタイミング、例えば、広告吊り器5に挟持される広告3が交換されたときに、交換された広告3のバーコード印刷エリア31上のバーコードを読取る。バーコード読取部29は、読取ったバーコード情報をメモリ25に記録する。

【0027】吊り器制御部は、挟持された広告3からバーコード情報が読取られたときは、メモリ25に記録されたバーコード情報を、図1に示した通信ネットワーク7を介して情報管理サーバ13に送信する。また、吊り器制御部は、バーコード情報の送信に回答して情報管理サーバ13から送られて来たアクセス情報及びアクセス情報に対応したインデックス情報（以下、アクセス／インデックス情報）を、メモリ25に記録する。吊り器制御部は、赤外線送受信部27でユーザ携帯端末1からアクセス情報要求信号（後述する）を受信したときは、メモリ25に記録したアクセス／インデックス情報を、赤外線送受信部27を通じてユーザ携帯端末1に送信する。また、吊り器制御部は、各ユーザ携帯端末1からの

アクセス情報要求信号を赤外線送受信部27で受信する度に、受信回数をカウントして総受信回数を求めそれをメモリ25に記録する。また、吊り器制御部は、ユーザ携帯端末1からのアクセス情報要求信号にユーザ個人情報（ユーザの名前、年齢、性別、電話番号など）が含まれている場合は、そのユーザ個人情報もメモリ25に記録する。吊り器制御部は、メモリ25に記録した上記総受信回数及びユーザ個人情報を、所定のタイミング、例えば、広告吊り器5に挟持される広告3が交換されたときに、通信ネットワーク7を通じて情報管理サーバ13に送信する。なお、上記総受信回数及びユーザ個人情報を送信した後は、吊り器制御部は、上記総受信回数はゼロにリセットすると共に、ユーザ個人情報を消去する。

【0028】赤外線送受信部27は、各ユーザ携帯端末1からアクセス情報を要求する旨の赤外線信号（アクセス情報要求信号）を受信し、アクセス情報の提供要求を吊り器制御部に通知したり、吊り器制御部からのアドレス／インデックス情報を赤外線信号にして、アクセス情報を要求したユーザ携帯端末1に送信する。

【0029】図4は、マッチングDB15内のバーコードテーブル、及び情報管理サーバ13を示す。

【0030】バーコードテーブル50には、電車内に掲示される全広告に掲載される全てのアクセス情報と、各アクセス情報に対応させたアクセス情報ID（つまりバーコード情報）及びインデックス情報が記録されている。アクセス情報IDは、アクセス情報をバーコードで表すためのコードであり、例えば7桁の数字である。インデックス情報は、アクセス／インデックス情報がユーザ携帯端末1に送信されたときに、ユーザ携帯端末1に表示される見出しである。

【0031】「バーコード情報：アクセス情報：インデックス情報」の順で説明すると、バーコードテーブル50には、例えば、「1000212: <http://www.abc.co.jp/>: abc 海外ツアーのネット予約」、「1000213: abc@aaa.co.jp: 広告についての御問合せ」、「1000214: 03-1111-1111: 電話による御問合せ」、…が記録される。

【0032】なお、バーコードテーブル50に記録される情報は、各種広告の掲載期間によって、一定期間毎（例えば毎日）に更新される。また、バーコードテーブル50に記録される情報は、電車内に掲示される広告のものに限らず、街の路上や駅などの他の場所に掲示される広告のものであっても良い。また、バーコードテーブル50には、アクセス情報に限らず、様々な情報、例えば、広告対象に関連する情報（広告対象である商品又はサービスの名称、効能、提供元業者名など）、広告の設置場所に関連する情報（例えば、広告の設置場所が街の路上であればその街の情報を閲覧できるWebページのURL）、特定商品又は特定サービスの値引き情報を記録したクーポン券情報等を記録することもできる（勿論、この場合は、その情報に対応させたバーコード情報

(情報ID)やインデックス情報も記録し、広告には、その情報に対応させたバーコード情報を印刷しておく)。これにより、ユーザは、後述のボタン操作をすれば、後述の処理流れによって、広告対象に関連する情報、広告の設置場所に関連する情報、及び上記クーポン情報等をユーザ携帯端末1に記録することができる。

【0033】情報管理サーバ13は、広告吊り器5からバーコード情報を受信したときは、受信したバーコード情報に対応したアクセス情報及びインデックス情報をマッチングDB15内のバーコードテーブル50から抽出し、抽出したアクセス/インデックス情報を、バーコード情報の送信元の広告吊り器5に送信する。広告吊り器5に送信されたアクセス/インデックス情報は、広告吊り器5から、アクセス情報要求信号の受信にตอบสนองしてユーザ携帯端末1に送信される。なお、情報管理サーバ13は、広告吊り器5から、上記総受信回数及び上記ユーザ個人情報を受信したときは、それらの情報を所定の場所(例えば情報管理サーバ13内の記憶装置)に保存する。

【0034】図5は、ユーザ携帯端末1を示す。

【0035】ユーザ携帯端末1は、ノート型パソコン、携帯電話、PHS、PDA等の携帯可能な情報通信端末であり、電子メールを送受信する機能や、インターネット上の所望のWebページを閲覧するブラウザ機能等の種々の機能を搭載している。ユーザ携帯端末1は、アクセス情報要求ボタン19と、赤外線送受信部17と、図示しない端末制御部と、ディスプレイ23と、画面スクロールボタン18と、各種キー21とを備えている。

【0036】アクセス情報要求ボタン19は、ユーザが所望の広告3(掲載物)に掲載されているアクセス情報が欲しいときに押下するボタンである。ユーザは、アクセス情報要求ボタン19を押下するときは、所望の広告3を吊り下げている広告吊り器5の赤外線送受信部27に、ユーザ携帯端末1の赤外線送受信部17を向けて押下する。

【0037】赤外線送受信部17は、アクセス情報要求ボタン19が押下されたときに、アクセス情報を要求する旨を赤外線信号にして広告吊り器5に送信する。また、赤外線信号送受信部17は、その送信にตอบสนองして広告吊り器5からアクセス/インデックス情報を含む赤外線信号を受信して、その信号からアクセス/インデックス情報を取出して図示しない端末制御部に送る。なお、赤外線送受信部17は、上記アドレス情報要求信号を送信するときは、ユーザ携帯端末1に保存されているユーザ個人情報(ユーザ氏名、年齢、性別、電話番号など)も一緒に送信する。ユーザ個人情報を送信するかどうかは、ユーザが自由に選択することができる。

【0038】図示しない端末制御部は、赤外線送受信部17からアクセス/インデックス情報を受けたときは、その情報を以下のように形式でディスプレイ23に表示

する。

【0039】図6は、アクセス/インデックス情報を受信してディスプレイ23に画面が表示されたときのユーザ携帯端末1を示す。

【0040】端末制御部は、アクセス/インデックス情報を受けたときは、インデックス情報のみを番号付してリスト表示する。例えば、受信したアクセス/インデックス情報が、図1に示した広告3を吊りしている広告吊り器5からのものであれば、端末制御部は、図6に示す通り、「1. abc海外ツアーのネット予約」、「2. 広告についての御問合せ」、「3. 電話による御問合せ」のようにインデックス情報を番号付してリスト表示する。

【0041】この表示画面上で、ユーザは、所望のインデックスに対応した番号のキーを押せば、端末制御部によって、所望のインデックスの内容を行うための情報サイト(つまり所望のインデックスに対応したアクセス先)にアクセスすることができる。例えば、ユーザは、「abc海外ツアーのネット予約」を行いたいときは、「abc海外ツアーのネット予約」に対応する番号のキー「1」を押せば、端末制御部によって、「abc海外ツアーのネット予約」を行うための情報サイト「http://www.abc.co.jp/」にアクセスできる。また、ユーザは、「広告についての御問合せ」を行いたいときは、「広告についての御問合せ」に対応する番号のキー「2」を押せば、端末制御部によって、「広告についての御問合せ」を受け付ける電子メールアドレス「abc@aa.a.co.jp」宛ての電子メール入力画面を表示し、文章入力後、メール送信を実行することができる。また、ユーザは、「電話による御問合せ」を行いたいときは、「電話による御問合せ」に対応する番号のキー「3」を押せば、端末制御部によって、「電話による御問合せ」を受け付ける番号先「03-1111-1111」宛てに自動発信できる。

【0042】なお、端末制御部は、ディスプレイ23上に全てのインデックス情報をリスト表示できないときは、ユーザに、画面スクロールボタン18のボタン操作を指示する。そのボタン操作にตอบสนองして、端末制御部は、インデックスリストを上下に或いは左右にスクロールすることで、ユーザが全てのインデックス情報を確認できるようにする。また、一度記録されたアクセス/インデックス情報は、以後、ユーザ所望のタイミングでリスト表示することが可能である。

【0043】図7及び図8を参照して、この掲載情報提供システムにおける処理の流れを説明する。

【0044】図7は、広告吊り器5に広告3をセットしたときのフローチャートである。

【0045】広告吊り器5は、広告3を挟持したときは(ステップS1)、挟持した広告3のバーコード印刷エリア31に印刷されている全てのバーコード12a、1

2b、12c (図2参照) を読取って (S2)、読取ったバーコード情報を、通信ネットワーク7を通じて情報管理サーバ13に送信する (S3)。また、広告吊り器5のメモリ25には、交換前の広告におけるアクセス情報要求信号の総受信回数 (つまり、交換前の広告の掲載情報を要求したユーザ延べ人数) 及びユーザ個人情報記録されているので、それらの情報も情報管理サーバ13に送信する。

【0046】情報管理サーバ13は、広告吊り器5からバーコード情報を受信したときは、受信したバーコード情報を検索キーに、マッチングDB15内のバーコードテーブル50からアクセス情報及びそれに対応したインデックス情報 (アクセス/インデックス情報) を抽出し (S4)、それを、検索キーに用いたバーコード情報の送信元の広告吊り器5に送信する (S5)。また、情報管理サーバ13は、その広告吊り器5からの上記総受信回数及び上記ユーザ個人情報を、所定の場所 (例えば情報管理サーバ13内の記憶装置) に保存する。

【0047】広告吊り器5は、情報管理サーバ13からアクセス/インデックス情報を受信したときは、そのアクセス/インデックス情報を、交換前の広告に関するアクセス/インデックス情報に上書きしてメモリ25に記録する (S6)。また、このとき、広告吊り器5は、上記総受信回数をゼロにリセットすると共に、交換前の広告における上記ユーザ個人情報を消去する。

【0048】図8は、広告吊り器5がユーザ携帯端末1からアクセス情報要求信号を受信したときのフローチャートである。

【0049】ユーザ携帯端末1は、アクセス情報要求ボタン19が押下されたら (S7)、アクセス情報要求信号を広告吊り器5に送信する (S8)。

【0050】広告吊り器5は、ユーザ携帯端末1からアクセス情報要求信号の受信したら (S9)、その信号の受信回数をカウントアップしてメモリ25に記録されている総受信回数を更新して (S10)、メモリ25に記録されているアクセス/インデックス情報を赤外線信号にしてユーザ携帯端末1に送信する (S11)。

【0051】ユーザ携帯端末1は、アクセス/インデックス情報を受信したら (S12)、インデックス情報をリスト表示する (S13)。

【0052】以上が、本実施形態に係る掲示物掲載情報提供システムの説明である。なお、上述の説明では、電車内の広告吊り器5が、広告3のアクセス情報及びそれに対応したインデックス情報を記憶し、ユーザ携帯端末1からのアクセス情報要求信号にตอบสนองしてアクセス/インデックス情報をユーザ携帯端末1に送信する機能を搭載しているが、勿論、その機能を搭載できる装置は、広告吊り器5に限定されない。その機能を搭載した装置は、広告3の掲示場所に依じて、様々な形状で製造することができる。

【0053】上述した実施形態によれば、ユーザ携帯端末1の所定のボタン (アクセス情報要求ボタン19) を一度押すだけで、所望の広告3に掲載されているアクセス情報がユーザ携帯端末1に自動的に記録される。これにより、ユーザは、電車が混雑している場合や、所望の広告3に掲載されているアクセス情報が人に隠れて見えない場合があっても、所望の広告3に掲載されているアクセス情報を容易に記録することができる (換言すれば、手書きでメモ用紙に記録する、又は、携帯型情報端末の種々のキーを操作して入力するという従来の面倒な動作を行わなくて済む)。

【0054】また、上述した実施形態によれば、ユーザ携帯端末1のアクセス情報要求ボタン19を押せば、自動的に、所望の広告3に掲載されている全てのアクセス情報のインデックスが、番号と共にリスト表示される。その表示画面において、ユーザは、所望のインデックス (アクセス情報) に対応した番号のキーを押すだけで、所望のアクセスを行うことができる。従って、所望のアクセスを簡単な操作で行うことができるので、ユーザにとってアクセス実行が便利になる。

【0055】また、上述した実施形態によれば、一度取得したアクセス/インデックス情報は、ユーザ所望のタイミングで表示することが可能である。従って、一度所望の広告のアクセス/インデックス情報を取得しておけば、従来は所定の設置場所で見ることができない広告 (掲示物) 掲載情報を、ユーザは、所望の時に所望の場所で見ることができる。

【0056】また、上述した実施形態によれば、広告3には、アクセス情報に限らず、広告対象に関連する情報、広告の設置場所に関連する情報、又は上記クーポン券情報など、様々な情報を印刷しておいても良い (その場合は、勿論、その情報に対応させたバーコード情報 (情報ID) やインデックス情報もバーコードテーブル50に記録しておく)。これにより、ユーザは、簡単なボタン操作で、広告に関連する情報をより広い範囲で取得することができる。別の観点からすれば、広告元は、より効率的・効果的に情報を提供することができる。例えば、広告が東京駅の掲示板に掲示されるものであれば、東京駅内又は東京駅周辺に関連する情報に対応させたバーコードを広告3に印刷しておけば、アクセス情報と共に、東京駅内又は東京駅周辺に関連する情報をユーザに提供できる。また、上記クーポン券情報及びそれに対応させたバーコードを広告3に印刷しておけば、アクセス情報と共に、上記クーポン券をユーザに提供できる。これにより、一つの広告から多数のユーザにクーポン券を提供できるようになるので、効率的であると共に、紙に印刷して配布する必要がなくなるので紙資源の節約に貢献できる。

【0057】また、上述した実施形態によれば、ユーザは、アクセス情報の要求と共に、個人情報 (年齢、性別

など)を広告元に提供することができる。これにより、広告元が、広告対象とそのアクセス情報を要求したユーザ個人情報との関係等を分析できるので、今後、ユーザは、より自分のニーズに適合した商品又はサービスの提供を受けられることが期待できる。

【0058】ところで、本実施形態には、いくつかの変形例がある。以下、それを説明する。

【0059】図9は、第1の変形例に係る掲示物掲載情報提供システムにおけるマッチングDB内のデータを示す。

【0060】第1の変形例に係る掲示物掲載情報提供システムでは、マッチングDB60内で、所定の又は所定地域における電車の全ての広告吊り器5'を一元管理する。つまり、同図に示すように、マッチングDB60内には、所定の又は所定地域における電車内の広告吊り器を識別するための吊り器ID(例えば、広告吊り器の製造番号)を記録した吊り器IDテーブル61が保存される。吊り器IDテーブル61には、吊り器IDの他に、その吊り器IDを持つ広告吊り器にセットされる広告のコンテンツ情報と、各コンテンツ情報に対応したアクセス/インデックス情報テーブル63a、63b、…、組込まれている。

【0061】図9を参照して具体的に説明すると、吊り器IDテーブル61には、「吊り器ID:コンテンツ情報」の順で言うと、「JID10034:abc海外ツアー」、「JID11406:ザッシ」、…が記録されている。また、コンテンツ情報「abc海外ツアー」には、アクセス/インデックス情報テーブル63aが組込まれており、コンテンツ情報「ザッシ」には、アクセス/インデックス情報テーブル63bが組込まれている。アクセス/インデックス情報テーブル63aには、コンテンツ「abc海外ツアー」に関連する情報、例えば、「http://www.abc.co.jp/:abc海外ツアーのネット予約」、「abc@aa.co.jp:広告についての御問合せ」、及び「03-1111-1111:電話による御問合せ」が記録されている。アクセス/インデックス情報テーブル63bには、コンテンツ「ザッシ」に関連する情報、例えば、「http://www.zasshi.co.jp/:今週のザッシ」、及び「http://www.kankobutulink.co.jp/:弊社の刊行物紹介へのリンク」が記録されている。

【0062】吊り器IDテーブル60に記録されるコンテンツ情報及び各コンテンツ情報に組込まれるアドレス/インデックス情報テーブル63a、63b、…に記録される情報は、各種広告の掲載期間によって、一定期間毎(例えば毎日)に更新される。

【0063】図10を参照して、第1の変形例における処理流れを説明する。

【0064】図10は、広告吊り器5'に広告をセットしたときのフローチャートである。

【0065】第1の変形例に係る各広告吊り器5'は、

自分の吊り器ID(例えば製造番号)を記憶しており、広告がセットされたときは(S14)、記憶している吊り器IDを、第1の変形例に係る情報管理サーバ13'に送信する(S15)。

【0066】情報管理サーバ13'は、広告吊り器5'からの吊り器IDを検索キーに、マッチングDB60からアドレス/インデックス情報を抽出し(S16)、抽出したアドレス/インデックス情報を広告吊り器5'に送信する(S17)。

【0067】広告吊り器5'は、情報管理サーバ13'からのアドレス/インデックス情報をメモリ25に記録する(S18)。

【0068】以後の処理流れは、図8に示した処理流れと同様である。

【0069】上述した第1の変形例によれば、広告吊り器5'のIDを元に、広告吊り器5'にアドレス/インデックス情報を記憶させるようにするので、アドレス情報に対応したバーコードを広告3に印刷する必要と、広告吊り器5'にバーコード読取部を設ける必要がなくなる。これにより、より安価に掲示物掲載情報提供システムの実施が図れる。

【0070】図11は、第2の変形例に係る掲示物掲載情報提供システムにおける広告吊り器を示す。

【0071】複数(例えば2つ)の広告吊り器71a、71bが隣接する場所では、ユーザは、アクセス情報要求信号を所望の広告吊り器71a又は71bに送信することに失敗する可能性がある。具体的に言えば、例えば、広告73aに関するアクセス情報が欲しくて広告吊り器71aにアクセス情報要求信号を送信したつもりでも、隣の広告吊り器71bがアクセス情報要求信号を受信してしまって、広告吊り器71bから広告73bに関するアクセス情報を取得してしまう可能性がある。

【0072】それを未然に防ぐため、第2の変形例に係る掲示物掲載情報提供システムでは、図示のように、各広告吊り器71a、71bに、アドレス情報要求信号の周波数を識別するための信号IDを表示、例えば、広告吊り器71aには、信号IDとして「#1」を、広告吊り器71bには、信号IDとして「#2」を表示しておく。各広告吊り器71a、71bは、受信するアドレス情報要求信号が、信号IDに対応した所定の周波数でなければ、アドレス/インデックス情報を送信しないようにする。

【0073】この第2の変形例において、ユーザは、所望の広告のアドレス情報を取得するときは、ユーザ携帯端末1'に、所望の広告を吊り下げている広告吊り器に表示された信号IDを入力してから、アドレス情報要求ボタンを押す。この第2の変形例に係るユーザ携帯端末1'は、アクセス情報要求信号の周波数のパターンを複数持っており、アドレス情報要求信号を送信するときは、入力された信号IDに対応した周波数でアドレス情

報要求信号を送信する。例えば、信号ID「#1」が入力されてからアクセス情報要求ボタンが押されたときは、ユーザ携帯端末1'は、比較的周波数の高いアドレス情報要求信号を送信し、信号ID「#2」が入力されてからアクセス情報要求ボタンが押されたときは、比較的周波数の低いアドレス情報要求信号を送信する。

【0074】広告吊り器71aは、受信したアドレス情報要求信号の周波数が比較的高ければ、アドレス/インデックス情報をユーザ携帯端末1に送信し、受信したアドレス情報要求信号の周波数が比較的低ければ、アドレス/インデックス情報を送信しない。反対に、広告吊り器71bは、受信したアドレス情報要求信号の周波数が比較的低ければ、アドレス/インデックス情報をユーザ携帯端末1に送信し、受信したアドレス情報要求信号の周波数が比較的高ければ、アドレス/インデックス情報を送信しない。

【0075】上述した第2の変形例によれば、各広告吊り器71a、71bは、受信するアドレス情報要求信号が、信号IDに対応した所定の周波数でなければ、アドレス/インデックス情報を送信しない。これにより、複数の広告吊り器71a、71bが隣接する場所であっても、アクセス情報要求信号の送信に失敗することを防げる。

【0076】なお、アクセス情報要求信号の送信の失敗を防ぐ方法は、上述の説明に限定されない。

【0077】以上、本発明の好適な幾つかの実施形態を説明したが、これらは本発明の説明のための例示であって、本発明の範囲をこれらの実施例にのみ限定する趣旨ではない。本発明は、他の種々の形態でも実施することが可能である。本発明は、広告・宣伝を目的とした掲示物に限らず、あらゆるタイプの掲示物、例えば選挙ポスター等にも適用することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を電車内の掲示物の掲載情報を提供することに適用したときの実施形態に係る掲示物掲載情報提供システムの全体構成を示すブロック図。

【図2】上記実施形態に係る広告3を示す図。

【図3】図3(a)は、広告吊り器5が広告3を挟持するために開いたときの外観図、図3(b)は、広告吊り器5が広告3を挟持したときの外観図。

【図4】マッチングDB15内のバーコードテーブル、及び情報管理サーバ13を示す図。

【図5】ユーザ携帯端末1を示す図。

【図6】アクセス/インデックス情報を受信してディスプレイ23に画面が表示されたときのユーザ携帯端末1を示す図。

【図7】広告吊り器5に広告3をセットしたときのフローチャート。

【図8】広告吊り器5がユーザ携帯端末1からアクセス情報要求信号を受信したときのフローチャート。

【図9】第1の変形例に係る掲示物掲載情報提供システムにおけるマッチングDB内のデータを示す図。

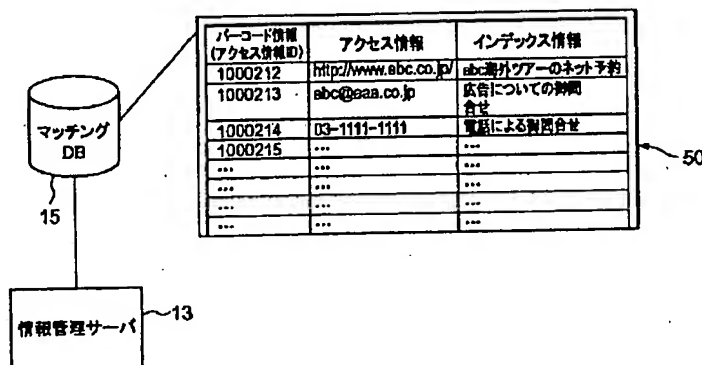
【図10】第1の変形例における、広告吊り器5'に広告をセットしたときのフローチャート。

【図11】第2の変形例に係る掲示物掲載情報提供システムにおける広告吊り器を示す図。

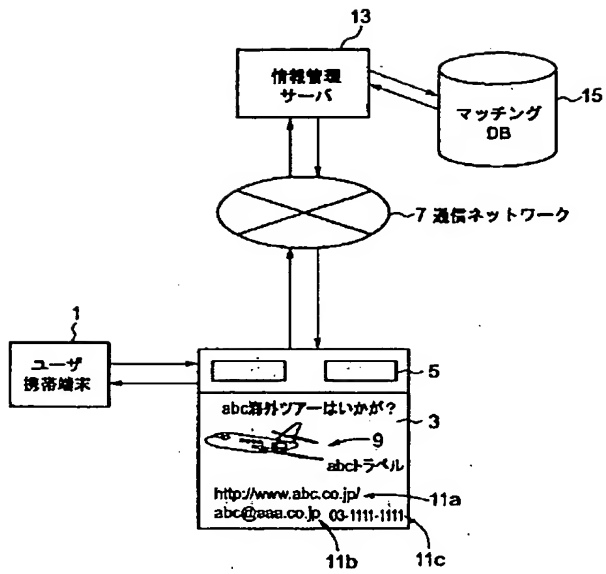
【符号の説明】

- 1 携帯型情報通信端末（ユーザ端末）
- 3 広告
- 5 広告吊り器
- 7 通信ネットワーク
- 9 広告対象
- 11a、11b、11c アクセス情報
- 13 情報管理サーバ
- 15 マッチングデータベース（マッチングDB）

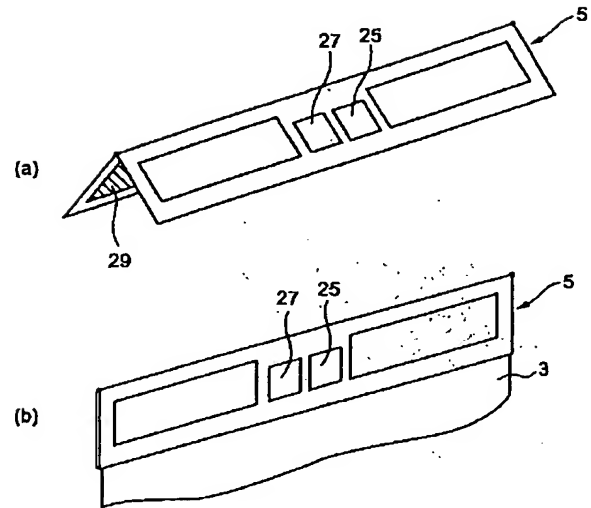
【図4】



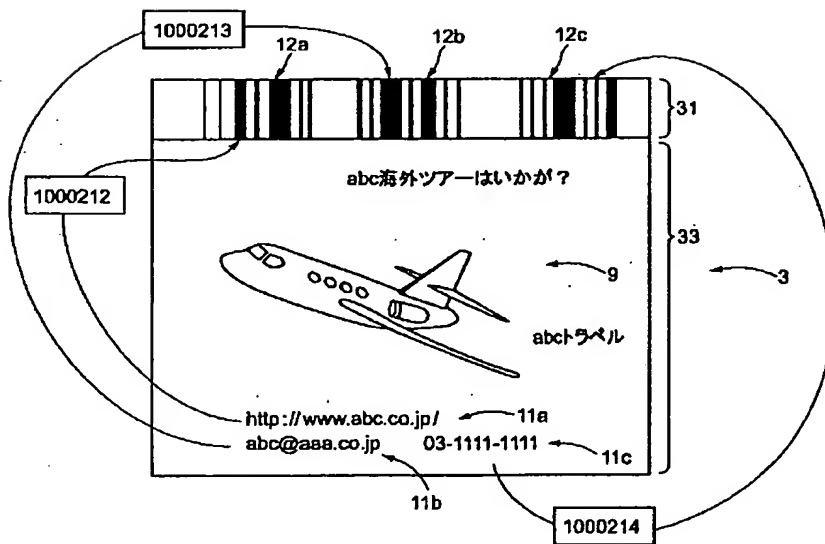
【図1】



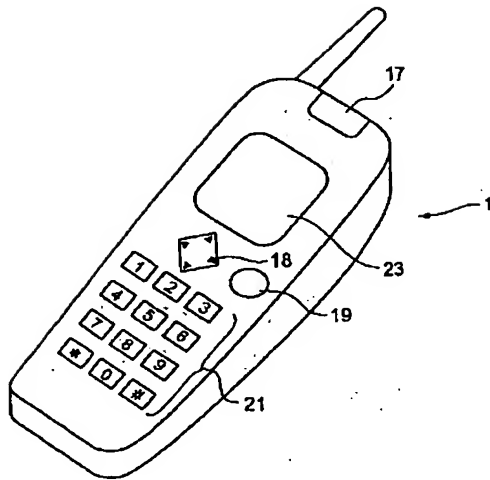
【図3】



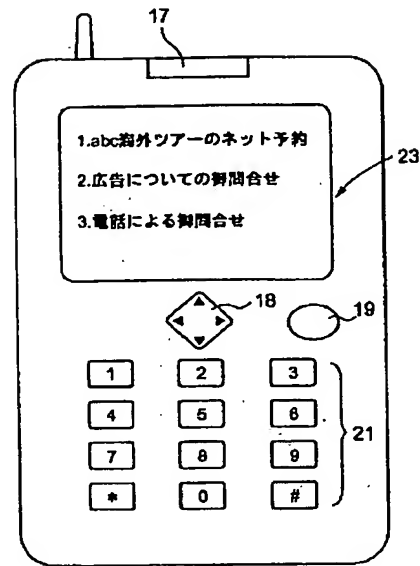
【図2】



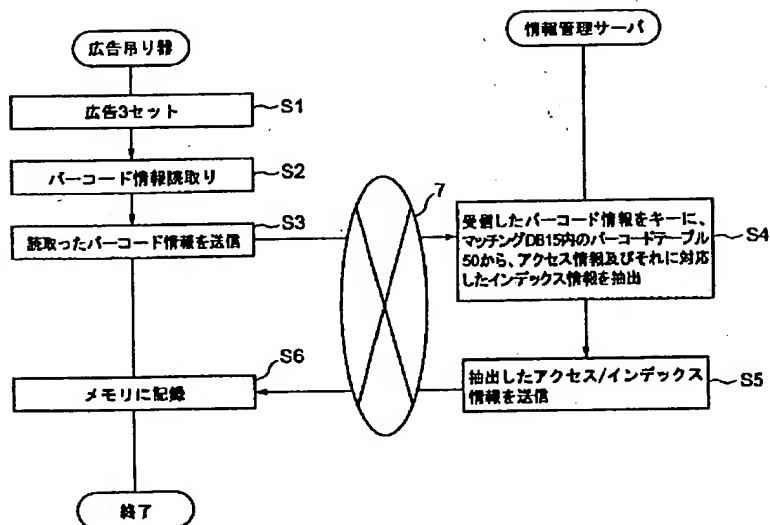
【図5】



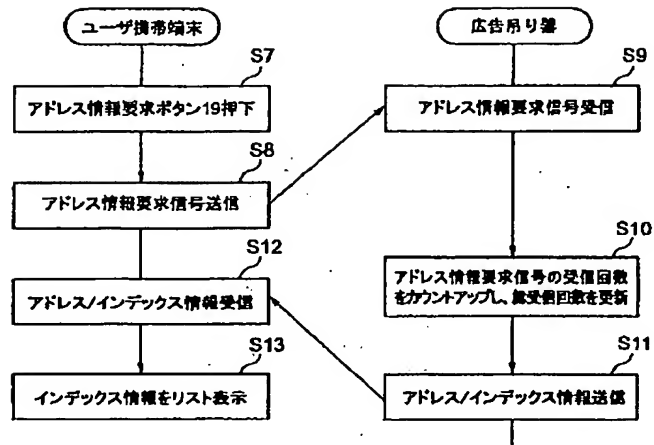
【図6】



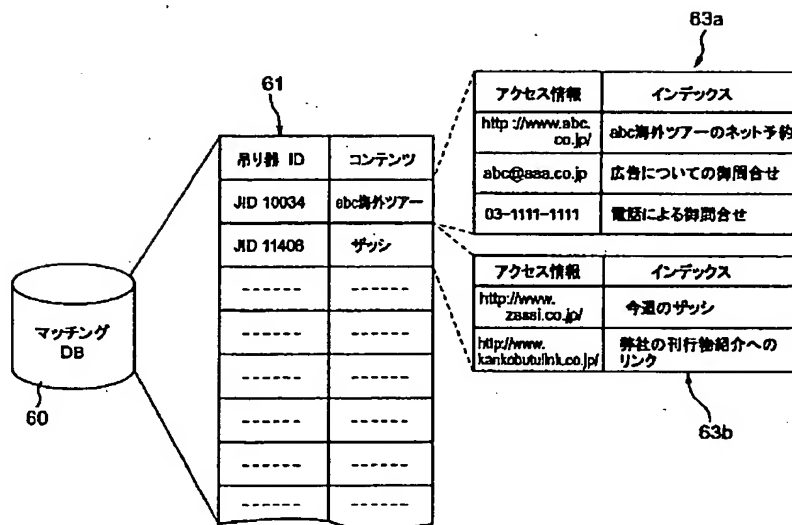
【図7】



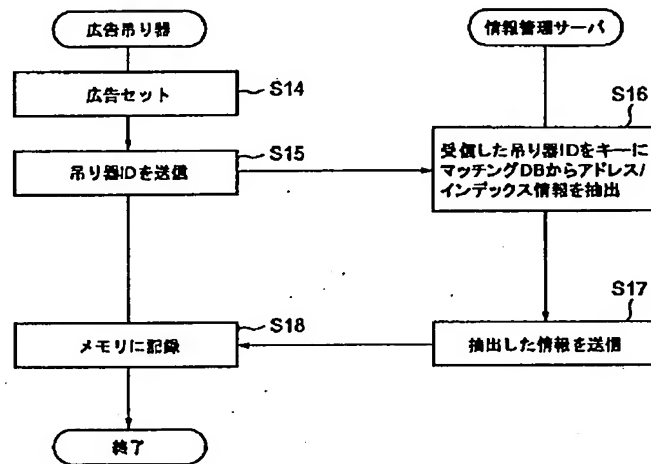
【図8】



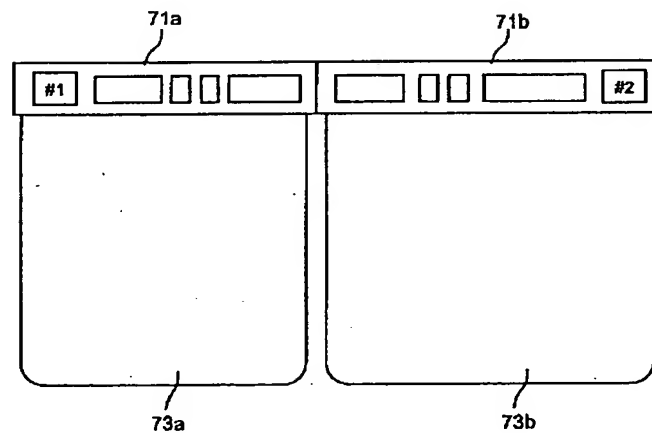
【図9】



【図10】



【図11】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷
G 0 6 F 17/60

識別記号
5 0 4

F I
G 0 6 F 17/60

テーマコード(参考)

5 0 4

(72)発明者 深石 賢治
東京都江東区豊洲三丁目3番3号 株式会
社エヌ・ティ・ティ・データ内

Fターム(参考) 5B049 BB49 CC02 DD00 DD02 EE05
FF01 GG03 GG06
5B075 KK07 ND20 NK02 PP02 PP03
PP13 PP22 PQ02 PQ46 UU40